



みずほ

市議会だより

小学生
初めての
議会傍聴

穂積小学校6年生が議会傍聴しました / 令和8年6月23日

★Contents★

- 新しい議会構成 ... P2
- 議案をチェック! ... P4
- 議会基本条例推進特別委員会 中間報告 ... P6
- 一般質問 ... P7
- 【特集】はじめての議会傍聴 ... P16

議会構成決まる

新たな体制でスタート!!

6月4日、令和8年第2回定例会において、新議長・副議長が選任され、議会運営委員会及び3つの常任委員会（総務委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会）の構成が決まりました。

また、議会選出の監査委員が選任されました。

議長 若井千尋 議員・副議長 藤橋直樹 議員を選出

議長・副議長の各選挙において、立候補議員が所信表明を行ったあと、投票により決定しました。

【投票結果】

○議長

若井千尋

無効票

17票
1票

○副議長

藤橋直樹

無効票

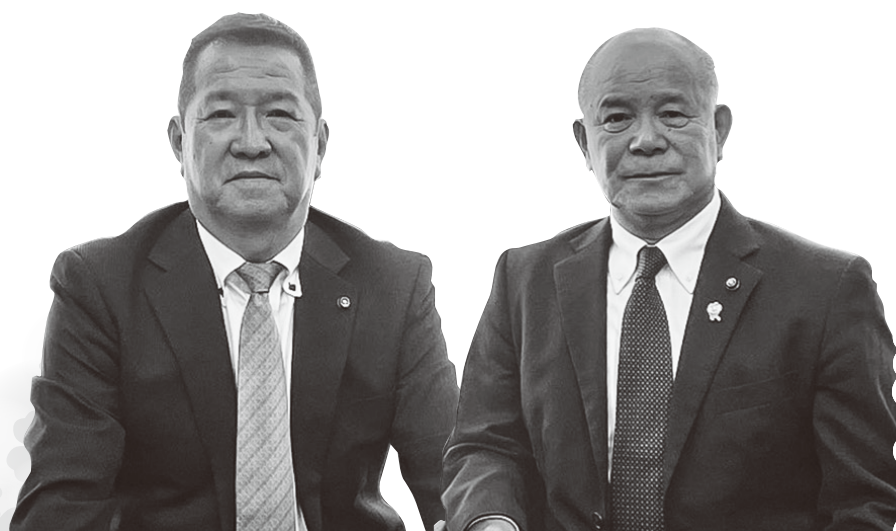
16票
2票

就任のあいさつ

令和8年第2回定例会において、議長の大任を拝しました。その責務の大きさに身の引き締まる思いでいっぱいですが、中立公平の立場で5期18年の経験をもとに議員が市民の範となりえるよう、議会の秩序を守り、魅力あるまちづくりに貢献をして参る決意です。

審議に関しては真摯に誠意を持って議論する。そして、市民の皆様の安全・安心の暮らしの為に、執行部局と緊張感を持ち、議会のあるべき姿のために、必要なリーダーシップを発揮して参ります。

議長 若井 千尋



藤橋 直樹 副議長

若井 千尋 議長

監査委員を選任

議会選出の監査委員に欠員が生じたため、新たに今木啓二郎議員が選任されました。



今木 啓一郎 議員



議会運営委員会



広瀬 守克 森 清一 関谷 守彦
◎庄田 昭人 ○馬淵 ひろし

【所管事項】

議会の会期日程や議案・請願などの取り扱い、議長の諮問事項などについて協議



常任委員会

総務委員会



庄田 昭人 関谷 英樹 鳥居 佳史 藤橋 直樹
◎森 清一 ○横田 真澄

【所管事項】

企画部、総務部、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会並びに他の常任委員会についての審査

【継続調査】

- ① 行政と議会の危機管理について
- ② ふるさと納税について

産業建設委員会



馬淵 ひろし 北村 彰敏 杉原 克巳 若原 達夫
◎若園 五朗 ○宮川 頌健

【所管事項】

都市整備部、環境水道部、農業委員会の所管に属する事項についての審査

【継続調査】

- ① 都市マスタープランについて（駅前開発を含む）
- ② 河川防災ステーションについて



文教厚生委員会



若井 千尋 棚橋 敏明 関谷 守彦 今木 啓一郎
◎広瀬 守克 ○今井 充子

【所管事項】

市民部、健康福祉部、巢南庁舎管理部、教育委員会の所管に属する事項についての審査

【継続調査】

- ① インクルーシブ教育について
- ② 支援をつなぐコーディネート事業



◎＝委員長 ○＝副委員長 名前は写真左上から掲載しています



議案をチェック!

一般会計補正予算(第1号)

本田小校区放課後児童クラブ施設建設事業

事業費:2億7千万円

本田小校区の放課後児童クラブ(学童保育)は、学校に空き教室がないため、近くにある本田コミュニティセンターの会議室などを借りて実施してきました。しかし、待機児童が発生するなど限界にきているため、近隣の公民館や空き家などを探してきましたが、適当な物件が見つかりませんでした。そのため本田小学校とも協議を重ね、学校の敷地内に学童保育のための施設を建設することになりました。施設は来年4月の新学期から使用する予定です。



放課後児童クラブの様子

Q 今後の児童数の見込みは。

A どの校区も児童数は若干減少気味であるが、本田小校区においては、1年生の58%が学童保育を希望するなど利用者が増加してきた。この状況から本田小校区の学童保育希望者は、今後数年間は横ばいで、その後若干減少するものと見込んでいる。



施設の建設予定地

Q 他の校区でも施設を新たに建設する可能性はあるか。

A 牛牧小校区や南小校区でもニーズは高いが、校内の教室などで対応が可能と判断しているため、本田以外に新たに施設を建設する予定はない。本田小学校は校舎が1棟しかなく、余裕教室が全くないため、今回建設することになった。

Q 施設建設のために国の補助はあるのか。

A 今回は、学校敷地内に建設し、待機児童があるということで、緊急を要する条件に該当するため、有利な補助率で「子ども・子育て支援施設整備交付金」を活用することができる。国の補助割合は全事業費の約54%になる。

Q 施設の概要は。

A 施設は定員40人の教室を4部屋設けるもので、軽量鉄骨造りの2階建て、延べ床面積は約470㎡となる。トイレは1階2階に男女それぞれ設けるが、1階には多目的トイレも設置する。職員室も設けるが、事務処理と重要書類の保管のために利用する。児童がいる時間は、すべての職員が児童の指導に当たるため、職員室は施錠する。なお保護者への児童の引き渡しは玄関で行うことになる。



児童が学校からコミセンに通う様子



令和8年6月4日～26日(会期23日間)

第2回定例会



水道事業会計補正予算(第1号) 宮田水源地内の管路を耐震化へ

令和8年度瑞穂市水道事業会計補正予算(第1号)が可決され、宮田水源地内の導水管を耐震化する事業が動き出します。この補正は、令和9年度に施工する工事の契約手続きを今年度から進められるよう、債務負担行為^{*}(限度額1億450万円)を設定するものです。宮田水源地から巣南庁舎および巣南中学校までの管路は重要給水施設管路に設定されており、公道部分にある管路の耐震化は今年度の施工予定箇所で完成します。今回の工事で水源地敷地内の導水管の耐震化を行うことで、この路線の耐震化がすべて完了します。今後は、最も配水量が多い別府水源地の路線に重点投資して事業を進めていく計画です。

Q 工事によってどのようなリスクが低減されるのか。

A 水道と電気の配管が敷地の同じ側に布設されているため、これを一方に水道、他方に電気配管と分散配置し、水道管が破損した際に電気配管が巻き添えになることを防ぐ。

Q この工事で市民に対する断水はあるのか。

A 仮設配管等を設置する予定で、長期的な断水はない。配管を切り替える際に短時間の断水が想定されるが、水道使用量の少ない夜間工事で対応する。



^{*}債務負担行為とは…工事などが複数年度にまたがる場合に、支払いは翌年度以降でも、契約は今年度から結べるよう、あらかじめ期間と限度額を予算で定めておく手続きです。

一般会計補正予算(第2号) 幼稚園と保育所2ヶ月分給食費を免除

令和8年度一般会計補正予算(第2号)が可決され、給食費に対する補助が決まりました。子育て世帯の経済的負担の軽減、及び教育環境の充実を目的として行うもので、幼稚園と保育所の2ヶ月分の給食費を免除するものです。財源は、政府の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」で賄われます。

Q 幼稚園と保育所の2ヶ月分の給食費を補助とした理由は。

A 今年度から小学校給食は国の無償化、中学校では1/4を市の負担としており、幼稚園と保育所については令和7年度との差額のみを市の負担としていた。今回の交付金を活用して、幼稚園と保育所においても中学校と同様の給食費負担を考え、2ヶ月分の補助が中学校と同じ1/4相当額となることから、2ヶ月分の減免とした。

Q なぜ市の予算ではなく、国の交付金を活用しての補助なのか。

A 当初予算の編成時には全体の予算を見て見送ったが、毎年この時期に交付金があることから、その時に活用できないかと考えていた。



地産地消の給食
「アユのハーブ揚げ」

議会基本条例推進特別委員会

中間報告

委員会を補完する協議等の場として、令和7年6月27日に設置された2つの部会の活動について報告します。

意見交換会部会

目的

- 意見交換会の運営方法等を検討

活動内容

- 意見交換会1回

テーマ：瑞穂市について思うこと

朝日大学の学生と他大学に通う市内在住の学生との意見交換会の開催



朝日大学との意見交換会の様子

研修部会

目的

- 議員研修の充実強化を図ること
- 議会基本条例の目的が達成されているか調査、検討

活動内容

- 議員研修2回

テーマ：治水事業・河川事業について

講師：坂野都市整備部長 工藤上下水道部長

テーマ：二代表制や政策立案について

講師：松井羽島市長

- 政務活動費、選挙公営について検討



議員研修の様子

新たに部会設置 令和8年6月26日～

意見交換会部会

部会長 鳥居 佳史

副部会長 横田 真澄

部会員 若園 五朗 / 棚橋 敏明 / 若原 達夫 / 藤橋 直樹
宮川 頌健

- 意見交換会の運営方法等の検討

研修部会

部会長 北村 彰敏

副部会長 関谷 英樹

部会員 庄田 昭人 / 杉原 克巳 / 今木 啓一郎 / 馬淵 ひろし
関谷 守彦 / 広瀬 守克 / 今井 充子

- 議員能力向上の為の議員研修の充実強化
- 議会基本条例の目的が達成されているか調査、検討

議員定数調査検討部会

部会長 杉原 克巳

副部会長 今木 啓一郎

部会員 若園 五朗 / 棚橋 敏明 / 今井 充子 / 北村 彰敏
横田 真澄 / 宮川 頌健

- 議会基本条例に規定する議員定数を調査、検討

令和8年第2回定例会

議案の審議結果

議案名等			議決結果	公	創緑会						有	新	み	共	市					議決月日
				◎若井千尋	◎広瀬守克	森清一	若原達夫	藤橋直樹	今井充子	横田真澄	宮川頌健	◎庄田昭人	◎今木啓一郎	◎若園五朗	◎杉原克巳	◎関谷守彦	◎鳥居佳史	棚橋敏明	馬淵ひろし	
市長提出議案	承認第3号	瑞穂市税条例の一部を改正する条例についての専決処分について	可	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/4
	承認第4号	瑞穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての専決処分について	可	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	6/4
	議案第23号	瑞穂市教育委員会の委員の任命について	可	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/4
	議案第24号	瑞穂市固定資産評価員の選任について	可	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/4
	議案第25号	令和8年度瑞穂市一般会計補正予算(第1号)	可	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/26
	議案第26号	令和8年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/26
	議案第27号	令和8年度瑞穂市水道事業会計補正予算(第1号)	可	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/26
	議案第28号	瑞穂市監査委員の選任について	可	一	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	6/4
	議案第29号	瑞穂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/26
	議案第30号	令和8年度瑞穂市一般会計補正予算(第2号)	可	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/26

議長は採決に加わりませんので、「一」で表示してあります。(議長 若井 千尋)

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥

有…有隣クラブ、新…新生クラブ、公…公明党、み…みずほ令和の会、共…日本共産党、市…市民の会

議員研修 各種研修に参加しました

市町村議会議員研修

- 第1回市町村長等・議会議員特別セミナー(4/20～4/21 5名)
- 社会保障・社会福祉～地域共生社会の実現に向けて～(5/14～5/15 3名)
- 世界情勢からわがまちの未来をつくる～トップマネジャーの方のために～(7/6～7/7 1名)
- 第2回市町村長等・議会議員特別セミナー(7/27～7/28 3名
オンライン参加1名)

地方議会セミナー

場 所: としま区民センター(東京都豊島区)
テーマ: 「議会の広報戦略・議会広報紙」の企画と編集(7/31 4名)



広報編集研修の様子

Q 8050問題など複合的な課題を抱える世帯への相談体制は

A 市の関係各課や関係機関が定期的に協議を行い、情報共有と連携を図りながら、包括的な支援体制の充実に努めていく
(健康福祉部長)



いま き けい いち ろう
今木 啓一郎 議員

地域で支え合う福祉の充実

Q 地域の支え合い活動を進める生活支援コーディネーターの活用が重要と考えるか。

A 生活支援コーディネーターが中心となり、地域の困りごとの把握や支え合いの仕組みづくり、地域資源の発掘を進めている。定期的な情報交換を通じて関係機関と情報を共有し、活用できるものは支援に取り入れている。(健康福祉部長)

Q 身寄りのない方への終活支援をどのように考えているのか。

A 亡くなられた後の対応だけでなく、生前から本人の意思を尊重し、安心して生活できるよう支援することを含め、両面から支援を進めていく。(健康福祉部長)

持続可能な地域づくり

Q 現在の悪水路清掃の実施方法は、将来に渡って持続可能と考えているのか。

A 高齢化や自治会加入率の低下により、従来

の方法での水路清掃は年々清掃の実施が困難となり難しくなっている。安全確保を最優先に見直しを進め、各地域の実情を踏まえながら、今後の維持管理の方向性を検討していく。

(都市整備部長)

Q 悪水路清掃に係る補助金は、今後も地域活動を支える財源として活用していく考えはあるのか。

A この補助金は、水路の環境保全と環境美化意識の向上を目的として交付している。地域によって状況は異なるが、清掃活動を通じて、地域防災力の強化や環境美化に寄与しているものと考えている。助成の在り方については、関係者と十分協議したうえで、水路の維持管理の方向性の検討と併せて検討していく。

(都市整備部長)



Q この数年にて、庁舎内・学校施設・街路灯などのLED化を進め電気代がどのように経費節約となっているのか

A 電気料金は、52,602,561円減少し、使用量においては65,567kwh減少している
(総務部長)



しょう だ あき ひと
庄田 昭人 議員

環境問題

Q 市内の街路灯は、すべてがLED化となったが、蛍光灯やナトリウム灯・水銀灯が確認できる。変更できていない理由はあるのか。

A LED化の未更新箇所が確認されたことを踏まえて、管理台帳の精査や点検体制の強化等を行い、再発防止に努める。(都市整備部調整監)

Q 「みずほ環境フェア2026」は、どのような成果があり、これからどのように活かしていくのか。

A 多くの市民の皆さまが環境に関心を持ち、地球温暖化対策につながる行動が促進されることを目指して、より有意義なイベントとなるよう進めていく。(環境経済部長)

Q 森先生の講演の中に、市への要望・希望の言葉がいくつかあったが、ハリヨをどのように保護していくのか。

A 保存会などのボランティア活動だけでは保護していくことが難しいことから調査結果を踏まえ

行政ができることを提案されることになっている。(副市長)

安全・安心について

Q 政策企画監においては、瑞穂市の職員として5月1日より着任されたが、考えや夢、笑顔になれるような企画はあるのか。

A 市議会議員の皆様のお力もお借りしつつ、職員が健康で笑顔で一丸となり課題に取り組み「瑞穂市が暮らしやすいね」と言ってもらえるような企画を立案することが「夢」である。(政策企画監)

Q JRの鉄橋から南側の堤防が細く、またカーブがある、安全に通行できるように要望してもらえないか。

A 道路拡幅事業が予定されており、現在は支障物件の事前移転工事に向けた準備をしている段階と聞いている。

(都市整備部長)



すべての街路灯がLED化されました

Q

新庁舎建設地が只越になった場合、中期財政シミュレーションで90億円不足する。他事業への影響は

A

(総務部長)

新庁舎の建設場所は未定であるが、補助金等で賄うので、他事業費に大きく影響することはない



せき や もり ひこ
関谷 守彦 議員

Q 新庁舎建設に関する県との協議が10か月中断しているが、県からの質問にいつ回答するのか。

A 周辺の土地利用計画や道路整備計画などの検討に時間を要しており、現在検討中である。

(総務部長)

Q 検討委員会との中間答申に、検討委員会で議論されていない「只越地域は市街化調整区域で、原則建設不可」という文言がなぜ入ったか。

A 第4回検討委員会の資料において課題、留意点として記載してある。

(総務部長)

Q ※ 県の文書から察すると、市が考える新庁舎候補地について、新庁舎建設検討委員会設置前から、有力候補地を考えていたのではないか。

A 新庁舎建設候補地は検討委員会で選定する。事前に情報収集をするため一つの例として県との打ち合わせを実施している。

(総務部長)

放課後児童クラブへの昼食提供

Q 保護者負担軽減のため、国の補助制度を活用して、夏休みに昼食の提供をしてはどうか。

A 国の事業を活用することで、費用の軽減には大変有効であるが、指導員不足の課題を解決しないと実施はできない。

(教育委員会事務局長)

保育所の育休退園

Q 来年度3歳未満の保育所の定員が増えるので、育休退園制度を廃止しては。

A 潜在待機児童の状況に留意し、慎重に検討したい。

(教育委員会事務局長)



※新庁舎建設に関する瑞穂市と県との協議内容について県の文書が公表されました。これらの文書は左記のQRコードから見る事ができます。



公開された文書

Q

都市拠点強化のため、JR穂積駅周辺に商業、医療、福祉、行政(新庁舎)機能を集約した複合型の「駅ビル」を建設する考えは

A

(都市整備部長)

市民の利便性向上やにぎわい創出、若い世代の定住促進に資する可能性があり、駅周辺整備の中で検討を進めていきたい



ま ぶち
馬淵 ひろし 議員

Q 新たに設定する土地利用検討区域(瑞穂市北西部、横屋地区、祖父江地区)の姿は。

A 瑞穂市北西部は、大野神戸ICへの近接性や将来の県道バイパス整備など、向上する広域交通網を生かす。幹線道路沿線を土地利用検討区域とし、新たな工業系の企業立地を誘導することで、雇用創出と若い世代の定住を促進する。横屋地区は、国道21号沿道で既成市街地に隣接する利便性を生かし、市街化区域への編入を視野に入れた計画的

都市計画マスタープラン

Q 只越地区と穂積駅周辺の都市拠点の姿は。

A 駅前広場や道路、公園などの公共空間を活用し、市民が日常的に交流し、憩える空間やにぎわいを創出するとともに、誰もが安全で快適に移動できる歩行者ネットワークの構築を図るため、JR穂積駅周辺の都市基盤の整備やまちの更新に向けた取組を進め、交流人口の拡大と地域活力の向上につながる魅力ある都市拠点の形成を目指していく。

(都市整備部長)



AIで作成した複合型駅ビル

電子地域通貨「かきりんPAY(仮)導入について

Q 紙の振興券は、配送遅延や約3千万円の事務コストが生じた。迅速な給付と地域内での経済循環のため、電子地域通貨を導入する考えは。

A 電子化は利便性向上や地域経済の活性化が見込まれる。一方で高齢者への配慮や、事業者・市のコスト負担等の課題もあり、他市の事例も踏まえて検討を続ける。

(環境経済部長)

な新市街地の形成を目指す。現在、具体的な企業と前向きに進出交渉を進めており、良好なまちづくりを推進する。祖父江地区は、安八スマートICからのアクセスの良さを生かし、県道北方多度線沿線に新たな工業系土地利用を検討する。現在、出店意欲のある企業と具体的な進出交渉が進んでおり、雇用の場の創出と定住促進に繋げる。

(都市整備部長)



指定ゴミ袋の調達価格の推移と今後の販売価格改定の可能性は



(環境経済部長)

今年度は昨年度の1.5倍になると見込んでいるが、1年分以上の在庫を確保していることから、販売価格を変更する予定はない

みや がわ しょう けん

宮川 頌健 議員



英語検定以外の各種検定への受験料補助

Q 英語検定料助成金交付事業の利用実績は。

A 対象者は、昨年度までは市内中学生のみであつたが、今年度から小学校5・6年生も助成の対象とした。助成内容は、検定料から10000円未満を切り捨てた額の半額を瑞穂市地域振興券で支給し、上限は5000円である。利用実績については、令和5年度は127名、6年度は122名、令和7年度は90名で、中学校卒業程度の3級の受検者が最も多く、次いで準2級が多い状況である。また、大学の中級程度の準1級に挑戦する生徒もあり、多くの生徒が本事業を活用して英語検定に挑戦していることは大きな成果であると考えている。(教育長)

子どもの通学環境における交通安全及び熱中症対策

Q カラー舗装、グリーンベルト、路面標示、注意看板等の整備箇所に関して、どのような基準で

決定して施策に転じているのか、また要望につながっているのか。

A 毎年自治会、学校からの設置要望については、現地確認と内容精査した上で関係機関との協議を行い、整備を実施している。また、学校や警察、国、県等による道路交通安全プログラムからの要望箇所についても積極的に対応している。安全施設のカラー舗装は、主要な通学路に設置されており、現在は濃い赤茶色と緑色の2種類で表示となっているが、今後は緑色のグリーンベルトに統一を図る。路面標示、注意看板等は公安委員会が設置する場合と道路管理者が設置する場合があり、公安委員会が対応できない場所で交通量が多いなどの危険性が確認される場所については、道路管理者等が設置を行っている。

(都市整備部長)



女性消防団及び女性防災士の確保・育成についての考えは



(企画部長)

女性消防団や女性防災士の魅力や役割を発信し、活動内容を周知して、団員確保に努める

わか ぞの ご ろう

若園 五郎 議員



誰もが安心して暮らせるまち

Q 市内の防犯カメラ総数と学校、公園、駅前以外の設置箇所は。

A 市管理の防犯カメラは269台、主な設置場所は公共施設や子供のための施設で、昨年度は国道などの地下道にも設置している。(企画部長)

Q サンコーパレットパークから瑞穂市消防団6分団までの道路整備計画は。

A 道路整備を進めており、今年度は測量設計を行い今後財源を確保して事業を実施したいと考えている。(都市整備部長)

Q 大野神戸インターチェンジへのアクセスルートが延伸される道路網計画は。

A 県と1市2町で研究会を立ち上げ、今年度末に取りまとめを行う。令和9年度にルート案を持つ同盟会から県へ要望をする予定である。(都市整備部長)

Q 十九条橋以北の犀川河川改修進捗の進捗状況と今後の整備計画は。

A 県は河川整備計画を策

定し、河川改修を実施している。現在は河道拡幅を行い、その後、河川整備計画レベルの改修として築堤などの改修を進める予定である。(都市整備部長)

Q 児童・生徒の登下校時の熱中症対策は。

A 連携協定のもと、ワールスポットとして、冷房スペースの提供をしている。また、みずほバスを活用した下校支援や、水筒への水分補給としてウォーターフラーの配備、さらに企業の寄附金で、特殊加工の日傘・帽子を新1年生に配布、体育館に空調設備を導入している。(教育委員会事務局長)

その他の質問

・部活動生徒の送迎車両の安全管理体制
・犀川上流部の美江寺みらい橋以東の整備計画
・大野神戸インターチェンジへのアクセスルートの広域的な都市軸としての位置づけ



令和8年6月26日台風7号と集中豪雨により犀川(森地内)が激しく増水しました。住民の命を守るため、早期の改修を強く求めます。



瑞穂市の防災・減災、人口減少と今後のまちづくりは



穂積駅周辺を整備し、公共交通充実、高齢者支援と子育て環境の充実を図り、暮らしやすいまちを目指す



ひろ せ もり かつ
広瀬 守克 議員

Q トイレカーの導入状況と今年度購入予定の給水タンクの納品スケジュールは。

A トイレカーは昨年契約し、4月に車両が工場に届き、現在機装中で、調整・検査を経て、来年3月までに納車予定である。

(企画部長)

A 給水車は現在購入手続き中で、7月から8月に契約し、年度内の納車を予定しているが、社会情勢により納車が遅れる可能性もある。

(上下水道部長)

Q 災害時以外での給水タンクの利用は。

A 給水車は緊急時以外の使用頻度は低いが、緊急時にスムーズに操作できるように、平常時から定期的に運転や操作訓練を行うことが必要である。防災フェアなどのイベントで市民に給水車の存在を知ってもらい、操作技術の向上にも努めていく。

(上下水道部長)

Q 若い世代の定住促進や子育て世代の流入促進はどのように行われているのか。

A 市は昨年度から移住支援補助金制度を導入し、約629万円の補助を行った。その他にも結婚新生活支援金、空家利活用補助金、東京圏からの移住支援金、地方就職学生支援金などを設け、パンフレット刷新や移住フェア出展など多様な施策で移住・定住対策を強化している。(企画部長)

Q 市は穂積駅周辺への都市機能集約を目指すのか、また市内各地域とのバランスをどのように考えているのか。

A 本市は、JR穂積駅周辺を都市機能の中核と位置づけ、地域の生活拠点と連携しながら、コンパクトで市民が暮らしやすい集約型都市構造の形成を目指す。

(都市整備部長)



若者がウェルビーイングを実現し、自ら選択できる環境づくりは



関係部署が連携し、プレコンセプションケアの視点で若者への健康教育やライフデザイン教育を推進する



いま い みつ こ
今井 充子 議員

プレコンセプションケア

Q プレコンセプションケア講座の市独自の開催は。

A 県と連携し、対象や内容を整理した上で早期実現に向け検討を進める。

(健康福祉部長)

Q 学校教育におけるライフデザイン教育をどのように進めるか。

A キャリア教育や家庭科、総合的な学習などを通じて、健康や家庭形成、仕事、地域との関わりを学ぶ機会を設けている。今後関係機関と連携し、子どもたちが将来の生き方を主体的に考え、自ら人生を切り開く力を育む教育の充実を図っていく。(教育長)

地域子育て支援センター事業及び保育体制強化事業

Q 地域子育て支援と保育体制の充実をどう進めるか。

A 市内5か所の子育て支援センターで交流や相談支援を行うとともに、保育補助者配置への補助

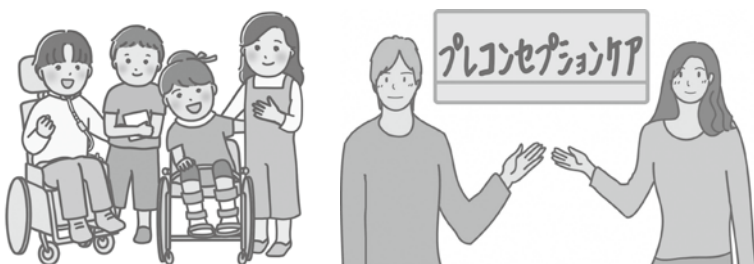
を継続し、保育士の負担軽減と保育の質向上を図る。

(教育委員会事務局長)

Q 医療的ケア児を地域で支える取組は。

A 誰一人取り残さないまちづくりのもと、インクルーシブな保育・教育を推進し、医療的ケア児と家族を地域全体で支えていく。

(市長)



Q LoGoフォームへの外来生物・樹木異常の通報項目の追加は

A 7月中のシステム更新を目指し、クビアカツヤカミキリについての周知を図り、早期発見につなげていきたい
(都市整備部調整監)



きた むら あき とし
北村 彰敏 議員

特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害に備える瑞穂市の体制整備

Q 県内で初めて海津市でクビアカツヤカミキリの被害が確認された。市内へ侵入するリスクの認識は。

A 海津市から20キロ程度であることに加え、車に付着して移動する可能性もあり、確認されることは十分にある。

(環境経済部長)

Q 侵入を前提として、関係各課の役割分担や情報共有の方法を定めた初動対応マニュアルの整備は。

A 近隣市町と取組状況や対応マニュアルの策定状況などについて情報収集を行い、関係課と共有しながら検討していきたい。(環境経済部長)

Q 樹木の点検の中で、フラスや枝枯れなどクビアカツヤカミキリの被害を意識した確認を行う考えは。

A 公園や街路樹の桜は約1900本。業者による

点検の際には害虫がいなか、樹木に損害を与えた痕跡がないかなどの点検項目も設定していきたい。

(都市整備部調整監)

管理不全空き地への対応と土地の活用への影響

Q 建物のない空き地からの竹木の越境は、空家等対策計画の対象に含まれるのか。

A 空家等対策計画の対象にはならず、瑞穂市を清潔で美しいまちにする条例などに基つき適正な土地管理をお願いしている。(環境経済部長)

Q 登記上の所有者が亡くなり、管理者不明の場合、市の対応は。

A 固定資産税の台帳や登記情報などを活用して相続人代表者や法定相続人の調査を行い、判明した際には適切な維持管理を個別に依頼している。

(企画部長)



Q 新庁舎建設候補地に市街化調整区域を検討指示したのは誰でいつ、出したのか

A 市長から建設基本構想の候補地以外にも、幅広く検討することが政策的に提案された。時期については記録が残ってなく確認が難しい
(総務部長)



とり い よし ふみ
鳥居 佳史 議員

3大事業と財政計画

Q 下水道事業(瑞穂処理区の総事業費は、全体完了までにいくらかと計画したのか。

A 554億4900万円としている。

(上下水道部長)

自治会の水路清掃

Q 市民からエンジン草刈り機使用時のけがの不安や高齢化、自治体加入率低下による水路清掃の持続性に対する懸念が出ているが、市民が納得する仕組みを改めて再検討する考えは。

A 大規模な土砂堆積箇所については、市が現

場を確認し対応するので、地域の実状を踏まえ無理のない範囲で活動へのご協力をお願いする。

(都市整備部長)

ゴミ屋敷条例の制定

Q 現状のゴミ屋敷は火災や倒壊やストレスなどの物的精神的被害が想定される。行政代執行の法的根拠を明確にし、費用回収も可能となるゴミ屋敷条例の制定を検討しては。

A 条例を制定した上で取り組んでいる先進自治体の状況を研究する。

(環境経済部長)



水路清掃後

水路清掃前



SAFの原料となる廃食用油はどの様に回収するのか



(環境経済部長)

中身が確認できるペットボトルやサラダ油の容器に入れ、美来の森へ出す



もり せい いち
森 清一 議員

「瑞穂市ゼロカーボンシティ宣言」の取組

Q 市長マニフェストにある環境都市みずほの創設について、その成果は。

A 環境都市宣言、ゼロカーボンシティ宣言をし、行政、市民、事業者、各種団体の皆さんと目標を共有しながら、できることを積み上げていきたい。エコポイントについては、空き容器回収のカードやエコアクションポイントアプリを活用しているが、さらにこのアプリか別に市の公式アプリなど導入し、空き容器回収や廃食用油の回収、さらには市主催のイベント参加、健康づくり、地域の活動などに資する行動にポイントが付与できるような仕組み構築も考えている。(市長)

小中学校のプール(水泳授業)

Q 学校プールの老朽化や近年の猛暑、酷暑の中で、学校プールから民間プールに委託する自治体もある。本市として、学校プールでの熱中症対策について、また民間プー

ルへの委託についてどう考えているのか。

A 熱中症対策として、プールサイドにあるシェードに加え、必要に応じてテントやタープの設置など直射日光を避けられる環境整備、緊急避難先確保、万に備えた体制整備、時間割の工夫をしている。民間に委託している学校では、屋内プールのため、熱中症リスクの低減になっている。生津小学校民間プール授業委託の反響は、児童・生徒、保護者、教職員ともに効果的であったことが確認できた。しかし、基本的には各学校プールが使用可能な間は学校のプールを使用する方針である。(教育長)

Q 廃止された牛牧小プール施設の今後の利用は。

A 駐車場や軽スポーツスペースとしての活用も含め、周辺公共施設の最適配置を目指し、検討したい。(教育委員会事務局長)



新たな防災気象情報の移行に伴う防災計画等の見直しの考えは



(企画部長)

防災会議等でご意見を聞き、地域防災計画における気象情報及び避難情報の位置付けを見直していきたい



よこ た ま す み
横田 真澄 議員

防災気象情報の新体系への対応

Q 避難所開設にあたり、自治会や防災士会との連携のタイミングは。

A 現在、自治会や防災士、避難所施設関係者を交えた避難所開設運営訓練を各地域で実施しているところである。洪水予報河川または水位周知河川の水位が氾濫注意水位に達した時や特別警戒等が発表された場合などには災害対策本部が立ち上がり、総合的な判断により避難所開設が必要と判断すれば自治会長や防災士会会長、避難所施設関係者と連携し避難所開設運営を開始する。また、本年度から避難所受付システムを導入し、受付時の混雑の緩和や要配慮者の保護、適正な物資の支援など避難所における運営負担の軽減を図っていく。(企画部長)

Q 線状降水帯直前予測が強化されたが、職員の配備体制や市民への早期注意喚起にどう生かしていくのか。

A 危機管理部局を中心とした情報収集、警戒態勢を強化していく必要があり、こうした防災情報を学校関係者や福祉関係者など庁内で共有する必要がある。線状降水帯直前予測は発生のおり市民の方は速やかに適切な防災行動をとることが大切となるので、ホームページの掲載や市民メールの配信、気象庁のホームページの閲覧の啓発などあらゆる媒体の活用をしながら効果的な情報発信に努めていきたいと考えている。(企画部長)



Q 不登校の児童生徒に給食センターなどで給食を提供する考えは

A 校内教育支援センターでの提供や、夏休みにも給食センターで保護者も含め試行的な実施を検討している

(教育長)



せき や ひで き
関谷 英樹 議員

学校給食

Q インスタグラムを利用して学校給食を紹介してみてもいいですか。

A 献立や生産者情報などを積極的に発信し、情報を共有することは重要と考えています。提案いただいたインスタグラムなど、ホームページ以外にも情報共有の策を検討していきたい。

(教育委員会事務局長)

Q 瑞穂市産にこだわった食材やオーガニック食材を導入する考えは。

A カレーライスには瑞穂市産ハツシモの米粉アレルギーを使用している。オーガニック食材は生産量の問題等をクリアしなければならぬが、積極的に取り組めるように調整していきたい。

(教育委員会事務局長)

中小・西小学校の児童数

Q 今後、小規模特認校制度をどのように進めていく予定か。

A 中小・西小学校の特色ある教育活動をさらに発展させることで、市内

の他の校区からの入学希望者を増やすことを目指していく。

(教育長)

Q 特色ある教育に関して、具体的な教育内容や実施事項は。

A 論理的思考力や問題解決力の育成につながる体験学習や地域との交流活動を推進している。今後は特に、異学年集団における教育活動と中小学校と西小学校の連携の2点を重点的に強化していく。

(教育長)

田んぼダム

Q 全国各地で豪雨時の被害軽減に向けた田んぼダムが注目されているが、瑞穂市でも導入に向けた調査をしてみてもいいか。

A 農業者の理解や維持管理負担、地域全体での合意形成などの課題があり、今後他自治体の事例や効果、課題等の動向を踏まえて検討していきたい。

(企画部長)



Q 県が推進する政策オリンピック事業とは

A 県が掲げる10の目標の実現に向け、県民や各種団体からアイデアを募集し、新たな政策を企画、立案実施する事業である

(企画部長)



ふじ はし なお き
藤橋 直樹 議員

Q 市では、この制度を積極的に利用、活用して募集やアイデア、提案などの取り組みを行っているのか。

A 市内の空き家を活用し、地域の団体等が子どもや高齢者の居場所づくりを支援する補助事業と、社会インフラの保全を目的としたラジコン草刈り機の導入事業を提案した。

(企画部長)

Q 農業分野のアグリパーク事業への提案や募集は行っているのか。

A 当市は応募していないが、34の提案が採択された。

(環境経済部長)

Q 今後の空き家対策において地域活性化の移住定住施策との連携をどのように考えているのか。

A 空き家の活用促進に向けて、空き家を活用した居場所づくり補助事業を提案した。今後も空き家の減少を目指し、多様な事業展開を進めていきたいと考えている。

(企画部長)

Q 高齢化の進展に伴い、独り暮らしの高齢者が増加していることが大きな課題となっており、地域福祉を支える民生委員の担い手が不足している現状がある。こうした状況を踏まえ、市としての現状認識と今後の対策についての考えは。

A 本市の高齢化率は令和4年9月末で21.7%、令和8年3月末で22.1%と微増し、今後も上昇が予想される。老人福祉計画に基づき、高齢者のニーズを把握し施策を進める。民生委員は定員84名中76名任命で8名不足しており、選出が年々困難になっている。原因は業務負担の増大、就労年齢の上昇が考えられる。制度見直しを国・県に要望し、業務負担軽減と民生委員の必要性の周知に努める。

(健康福祉部長)



議会活動日誌

5月

- 12日 中濃十市議会議長会議(各務原市) 研修部会
- 14～15日 市町村議会議員研修
- 26日 産業建設委員会協議会
- 27日 全国市議会議長会定期総会(東京都千代田区)
- 28日 議会運営委員会 全員協議会

6月

- 22日 令和8年第2回瑞穂市議会定例会(一般質問) 議会基本条例推進特別委員会
- 23日 令和8年第2回瑞穂市議会定例会(一般質問) 議会運営委員会
- 24日 令和8年第2回瑞穂市議会定例会(一般質問)
- 26日 令和8年第2回瑞穂市議会定例会(最終日) 議会広報編集委員会

6月

- 4日 令和8年第2回瑞穂市議会定例会(初日) 全員協議会(議案説明)
- 9日 議会運営委員会
- 12日 令和8年第2回瑞穂市議会定例会(総括質疑)
- 15日 産業建設委員会・協議会
- 16日 文教厚生委員会・協議会
- 17日 総務委員会・協議会

7月

- 3日 議会運営委員会
- 6～7日 市町村議会議員研修
- 17日 議会広報編集委員会
- 24日 岐阜県市議会議長会議(中津川市)
- 27～28日 市町村議会議員研修
- 30日 議会広報編集委員会
- 31日 地方議会セミナー(議会広報編集委員会)

議員表彰

全国市議会議長会議及び東海市議会議長会において、2名が表彰されました。



杉原克巳議員



今木啓一郎議員

議員10年以上
表彰

令和8年第3回定例会日程(8・9月予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	1	2	3	4	5
	本会議 (初日・議案提案説明)					
6	7	8	9	10	11	12
			本会議 (総括質疑・委員会付託)	産業建設 委員会	文教厚生 委員会	
13	14	15	16	17	18	19
	総務 委員会	委員会 予備日	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問予備日)	
20	21	22	23	24	25	26
					本会議 (最終日・委員長報告 ・質疑・討論・採決)	
27	28	29	30			

※日程は、変更になる場合があります。HPをご確認ください。

編集委員からひとこと

今回から議会だよりの編集に携わることになりました。読みやすく、手に取りたくなる紙面を目指して試行錯誤しています。議会をより身近に感じていただけるよう努めてまいりますので、ご意見・ご感想をぜひお寄せください。

議会広報編集委員会

委員長 北村 彰敏
副委員長 関谷 英樹
委員 馬淵 ひろし
関谷 守彦



はじめての議会傍聴 市議会って何をしているところ?



市議会傍聴の様子

穂積小学校6年生(約120名)が、令和8年第2回定例会(6月議会)一般質問の傍聴にられました。社会科の授業の一環で、教科書で学んだ市役所、市長、議会の役割を市議会を傍聴することで深く学ぶために、初めて児童の傍聴が行われました。

瑞穂市議会では、令和7年9月議会から全国市議会議長会からの標準傍聴規則改正の通知を契機に、傍聴規則の見直しを議会で検討してきました。特に、乳幼児、児童の傍聴を制限してきた旧傍聴規則を見直し、令和8年4月1日から規則を改正したことにより、今回の児童の傍聴につながりました。

いのうえ ともまさ

井上 智聖さん(6年1組)

市議会ってとても重要!

とても静かだったのに驚きました。自分で体感してみたことで、市議会はとても重要なんだと思いました。

にしのみ ゆこ

西野 真由子さん(6年2組)

市に関心が高まった!

私たちの身近に関わる市のことが、こうやって大きな話し合いで決められていることを知って、市政への関心が高まりました。

かわい はやせ

川合 隼世さん(6年3組)

将来のことまで!

現在の問題を話していると思っていたが、将来この問題がどうなるかまで討論していたのが興味深かったです。

せき み ゆづき

堰見 優月さん(6年4組)

参加してみたい!

私たちのことを考えて話し合っていることがわかった。市のために真剣に話し合っているのを知って、自分も参加してみたいと思いました。

議会だよりインタビューの様子



本物の体験に勝る学びなし



穂積小 山本 邦宏 校長

主催者教育を推進する中で、子どもたちが政治をより身近に感じることができる方途を模索していたところ、議会傍聴の機会をいただき、実現したことをありがとうございます。

本物の体験に勝る学びはなしと思っていますので、今後もチャンスがあれば活用していきたい。

開かれた議会を目指して



庄田議会運営委員長の説明

傍聴に入る前に、傍聴の注意や議会と市長の役割、二元代表制などを事前レクチャーしました。メモを取り真剣に聞いている児童の姿が印象的でした。

